



● 新エネルギー設備を導入する人は補助申請をお早めに

SDGs GOAL 7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

市では、住宅用の太陽光発電システムや薪・ペレットストーブの設備導入に対する補助を次のとおり行っています。**10月31日(金)の受付分をもって本年度の申請の受け付けを終了**しますので、期限内の申請にご理解ご協力をお願いします。

対象：本年4月以降の契約・着工予定の新エネルギー設備を新たに導入する人

	住宅用太陽光発電システム	ペレットストーブ・薪ストーブ
対象者	市税の滞納がなく、次のいずれにも該当する人 ①市内に住所を有するか転入予定 ②市内に新エネルギー設備を設置予定 ※設置後の申請はできません。	
対象品	住宅に新たに設置され、最大出力10kW未満で未使用のもの。※余剰電力を地域新電力会社へ売電できる契約を結んでいることが条件になります。	未使用のもの。薪ストーブは2次燃焼機能のあるもの。
助成額	設置費用(税抜)の3分の2以内 (上限80万円)	設置費用(税抜)の4分の3以内 (上限75万円)
必要書類	①申請書(市様式) ②カタログ、仕様書など設備の概要が分かる書類 ③位置図および現況写真 ④見積書など経費の内訳が分かる書類	

問い合わせ先 市役所まちづくり推進課生活環境係(内線121・122)

文化財ニュース

開発を行う際は埋蔵文化財の確認を

SDGs GOAL 4 質の高い教育を
みんなにSDGs GOAL 11 住み続けられる
まちづくりを

市内には約300カ所の遺跡(周知の埋蔵文化財包蔵地)があります。

埋蔵文化財は地域の歴史や文化を知る上で大変貴重なもので、失われると二度と元に戻すことはできません。そのため、文化財保護法によって大切に保護されています。

開発事業(宅地造成・住宅建築・道路工事・水道工事など)に伴い土木工事などを行う際には、事前にその計画区域が遺跡の範囲内であるかどうかの確認が必要になります。開発予定地の位置、範囲、地番などがわかる図面を窓口を持参するか、市ホームページに掲載している届け出フォームまたは右の二次元コードから届け出をしてください。

また、回答に先立ち、担当者による現地確認を行う場合がありますので、ご理解ご協力をお願いします。

問い合わせ先 市教育委員会教育総務課文化財係(内線556)

令和6年度遺跡照会件数	
土木工事	55件
不動産取引	3件
その他	4件
計	62件

届け出は
こちら



● 日本遺産に「旧吉田家住宅主屋」が認定されました

SDGs GOAL 4 質の高い教育を
みんなにSDGs GOAL 11 住み続けられる
まちづくりを

旧吉田家住宅主屋は、7月31日付けで、文化庁が認定する日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」の構成文化財として追加認定されました。

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものであり、「みちのく GOLD 浪漫」は、令和2年度に本市、平泉町、宮城県涌谷町、気仙沼市および南三陸町を構成市町村として誕生しました。現在の岩手県や宮城県を含む「みちのく」と呼ばれる地域で、日本で初めて“金”が産出されたことから「産金はじまりの地をたどる」をテーマとしています。令和4年度には石巻市が追加され、本年新たに大船渡市も追加認定されました。

本市ではすでに、「玉山金山遺跡」「くびふりべーご」「吉田家文書」など12の文化財が日本遺産に認定されており、「旧吉田家住宅主屋」が13番目の構成文化財となります。

江戸時代の佇まいを体感できる本施設は、吉田家文書に残された記録と併せて、産金経営と地域社会との関係を紐解くための重要な文化財であり、金採掘にまつわる栄枯盛衰を現代(いま)に伝える世界で唯一の建造物です。



みちのくの“金”は、奈良の東大寺の大仏や平泉の中尊寺金色堂を彩り、祈りの象徴として人々の心に光を灯し続けてきました。

日々の生活や風土に溶け込んだ“みちのく GOLD”との出会いは、悠久の時を経ても色褪せることのない浪漫に満ちあふれています。ぜひこの浪漫を体感しにお越しください。

所在地：陸前高田市気仙町字町裏200番地7

開館時間：午前9時～午後4時

入館料：個人：300円

団体(10人以上)：200円

陸前高田市民、大学生以下、障害者手帳所持者(重度)とその介助者1名：無料

※令和8年3月31日(火)までは、全ての人の入館を無料としています。

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

年末年始(12月29日～1月3日)



吉田家文書の内容を
パソコンで見ることができます

問い合わせ先 市教育委員会教育総務課文化財係(内線555)